

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) サンリブ黒崎店	階数	地上2F
建設地	福岡県北九州市八幡西区岡田町9	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分	年間使用時間	0時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2011年11月25日
敷地面積	5,251 m ²	作成者	河村晃
建築面積	2,502 m ²	確認日	2012年1月25日
延床面積	2,852 m ²	確認者	石川哲夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: A: B+: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
音環境: 2.6	機能性: 3.2	生物環境: 2.0
温熱環境: 3.0	耐用性・信頼性: 2.7	まちなみ・景観: 4.0
光・視環境: 3.0	対応性・更新性: 3.6	地域性・アメニティ: 2.5
空気環境: 4.0		

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の熱負荷: 2.3	水資源保護: 2.2	地球温暖化への配慮: 3.1
自然エネルギー: 3.0	非再生材料の使用削減: 3.7	地域環境への配慮: 2.6
設備システム効率化: 2.6	汚染物質回避: 4.0	周辺環境への配慮: 2.7
効率的運用: 3.0		

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境との調和をはかるため、建物配置、形状、色彩等を工夫し、且つ防犯性を考慮し視線を遮らない外構計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	交通量の多い道路からの騒音を防ぐため、道路側の開口部を少なくする計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の景観に調和するよう、建物の外装等の色彩、形状は、周囲への圧迫感を軽減するよう考慮した。
LR1 エネルギー	建物内外の熱の出入を抑制するため、外壁に断熱性能が優れているALC版を使用。	LR3 敷地外環境 建物利用者の駐車場、駐輪場は、適切な量を確保した。
Q2 サービス性能	竣工後の改装、メンテナンスを考慮し、1階の階高5.5m(ch+1.7m)とした。	
LR2 資源・マテリアル	揮発性有機化合物の発生を抑制するため、F 建材を全面使用とした。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい